



16+
age

日本語マニュアル

v1.0



HS700D

お問い合わせ先(日本語対応可)

Email : jp@holystone.com

Facebook: <https://www.facebook.com/HolyStoneToys/>

TEL: 1(国番号)-8558886699(アメリカの電話番号)

電話受付：月曜日～日曜日（旧正月の休みを除く）

受付時間：日本時間 午前：9時30分～12時30分

午後：2時30分～6時30分

※時間帯により電話は混雑している可能性があるため、メールでの連絡をお薦めします。

目次

1. 安全上のご注意（必ずお読みください）	03
2. 【重要】LiPoバッテリーについて	04
3. 同梱品一覧	06
4. 各部名称	07
5. 操作モード切替	09
6. フライトの準備	10
7. フライトを始める	14
8. 送信機機能の紹介	17
9. Wi-Fiカメラの使い方	21
10. アプリ機能紹介	23
11. 機体LEDの状態変化説明	29
12. 製品基本情報について	30
13. よくある質問	31
14. 製品サポートについて	32
15. メーカー情報	32

Holy Stoneストア、ユーチューブ、フェイスブック、LINE友達追加は以下よりご参照ください。



Holy Stoneストア : www.holystone.com



Facebook :
<https://www.facebook.com/HolyStoneToys/>



LINE ベーシック ID:@842plfqb



YouTube : <http://bit.ly/2tUE38L>

安全上のご注意（必ずお読みください）

⚠ 警告

保護者の方へ

当製品に使用されている小さな部品は誤飲・窒息の危険があります。3歳未満のお子様に手を触れさせないようご注意ください。

⚠ 注意

ここに記載されている注意事項は、本製品を安全にお使い頂き、損害や危害を未然に防ぐためのものです。必ずお読みください。

1. GPS機能の利用について

★本製品はGPS（グローバル・ポジショニング・システム）搭載の屋外専用機ですが、全ての環境/フライトにおいて、GPS信号の捕捉や、信号強度、自動帰還をお約束するものではありません。常にGPS信号をロストする可能性を考慮し、緊急時にはご自身の手動操作で戻せる目視範囲内でのみフライトしてください。

2. フライトについて

★製品をご利用の前に、国土交通省が定めたガイドラインを参照し、ご自身が利用する環境と照らし合せ、問題がない事を確認してから製品をご利用ください。

★【無人航空機（ドローン、ラジコン機など）の安全な飛行のためのガイドライン】
<http://www.mlit.go.jp/common/001228024.pdf>

★当製品は屋外でのフライトを推奨します。ただし、屋外では風の影響が強く正常にフライトできない恐れがあります。風のない日での操作をお勧めします。

★屋外のフライトでは高压線・公共施設・空港・道路・線路が近くにある場所、及び周りに人がいる場所、建物がある場所で絶対にフライトさせないでください。

★電波障害に気をつけてください。ほかの電波使用機器からの影響により、ラジコン用の電波が干渉を受ける場合があります。物理的にも電波的にも障害となるものが無い、見晴らしの良い広いエリアが理想的です。万が一の突発的に起こる電波障害を考慮し、常にあらゆるリスクに備えてください。

★プライバシー確保へご配慮ください。本製品にはカメラが搭載されています。録画/撮影した映像の対象によってはプライバシーの侵害となる恐れがあります。事前に周囲をよく確認していただき、プライバシー確保へご配慮ください。

★プロペラには向きがあります。交換する際は説明書をご参照になって正しく取り付けてください。正しく取り付けないと正常に飛行できません。

3. 怪我にご注意ください

★当製品は16歳未満のお子様に使用させないでください。また、お子様の手の届く場所に保管しないでください。

★対象年齢未満のお子様がいるところで使用しないでください。

★プロペラは高速回転しますので、大変危険です。飛行中は人の顔や手に接触しないよう十分注意して安全に飛行させてください。特に目に接触すると失明の恐れがあります。

★水や火の中に入れたり、分解しないでください。

★火の近くや高温多湿の場所で使用したり、充電・保管はしないでください。

★フライトの前に必ず各ネジの緩み、パーツ破損・脱落がないかを点検してください。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が脱落し大変危険です。また、フライト後も必ず部品に破損や脱落が無いかを確認してください。

★フライト後は速やかに機体からLiPoバッテリーを取り外してください。保管中はお子様が触れないように注意してください。

★当製品（機体本体・送信機・充電器）を改造しないでください。また、専用バーソ以外をご使用になった場合、正常にフライトできないばかりか思わぬ事故に繋がる恐れがあります。十分ご注意ください。

★当製品を高温となる自動車内や直射日光が当たる場所に放置しないでください。

★当製品の受信機・送信機は精密機器です。水に濡らしたり湿気が多いところに放置しないでください。

★不正な操作および改造が原因による故障等についても返品、返金を承ることはできません。

【重要】LiPoバッテリーについて

本製品にはLiPoバッテリーが採用されています。安全に使い続けるためには適切な状態を保ち、特性上のリスクを考慮して使う必要があります。以下の注意事項を守り、正しくご利用ください。

1. 使い方

★アプリに表示される機体バッテリー残量を常に意識し、安全のため30%以下になりましたら、すぐに帰還させてください。

★バッテリーに変形や匂いなどの異常を見つけた場合は絶対に使用せず、廃棄してください。

★バッテリーは絶対に分解、改造しないでください。

★機体で使用する状態でのみ放電してください。それ以外の放電はしないでください。

★当製品は飛行機用充電式LiPoバッテリーであり、ほかの用途には使用できません。

★過放電してしまった場合はご使用頂くことができません。放電し過ぎないようにご注意ください。また、軽い過放電を繰り返した場合もバッテリーが次第に傷んでいき、充電・放電時間が極端に短くなり、使用できなくなります。

★LiPoバッテリーは消耗品です。交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

★必ず付属したUSBケーブルまたは専用充電器（別売り）を使い、充電中はその場から離れず、異常事態に備えてください。

★万一充電中にバッテリーが異常に過熱した場合には、絶対にバッテリーに触れず、USBケーブルを外して充電を中止してください。そして、温度が下がるまでバ

バッテリーを安全な場所で保管して下さい。

★リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電が可能です。

★バッテリーにUSBケーブルを差したまま放置すると過放電となり、使用できなくなる恐れ

があります。速やかにバッテリーからUSBケーブルを抜いてください。

3. フライト中の注意

★墜落・衝突などした際、バッテリーが強い衝撃を受けると膨張したり発火する恐れがあります。可燃物を避けた場所でしばらく放置して、異常のないことを確認してください。

4. 電池を保管・保存する場合の注意

★LiPoバッテリーの保管可能温度は5°C~40°C前後です。性能の劣化を防ぐには25°C前後が最適です。

★自動車内や室内の窓際など、直射日光の当たる場所に放置するとバッテリーが高温となり、自然発火する恐れがあります。そのような場所での保管はお止めください。

★2週間以上ご使用頂かず保管する場合は満充電後3分程度フライトさせ、バッテリー容量が50%~70%程度になってから保管するようにしてください。

5. バッテリーの運搬・廃棄

★バッテリーの運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬してください。

★Lipoバッテリーを廃棄する場合には、一晩塩水につけて中和してから破棄してください。

★絶対に火の中に投げ入れないでください。爆発します。

★廃棄方法は各自で地方自治体に問い合わせるか、リサイクルを行っている販売店様にご確認ください。

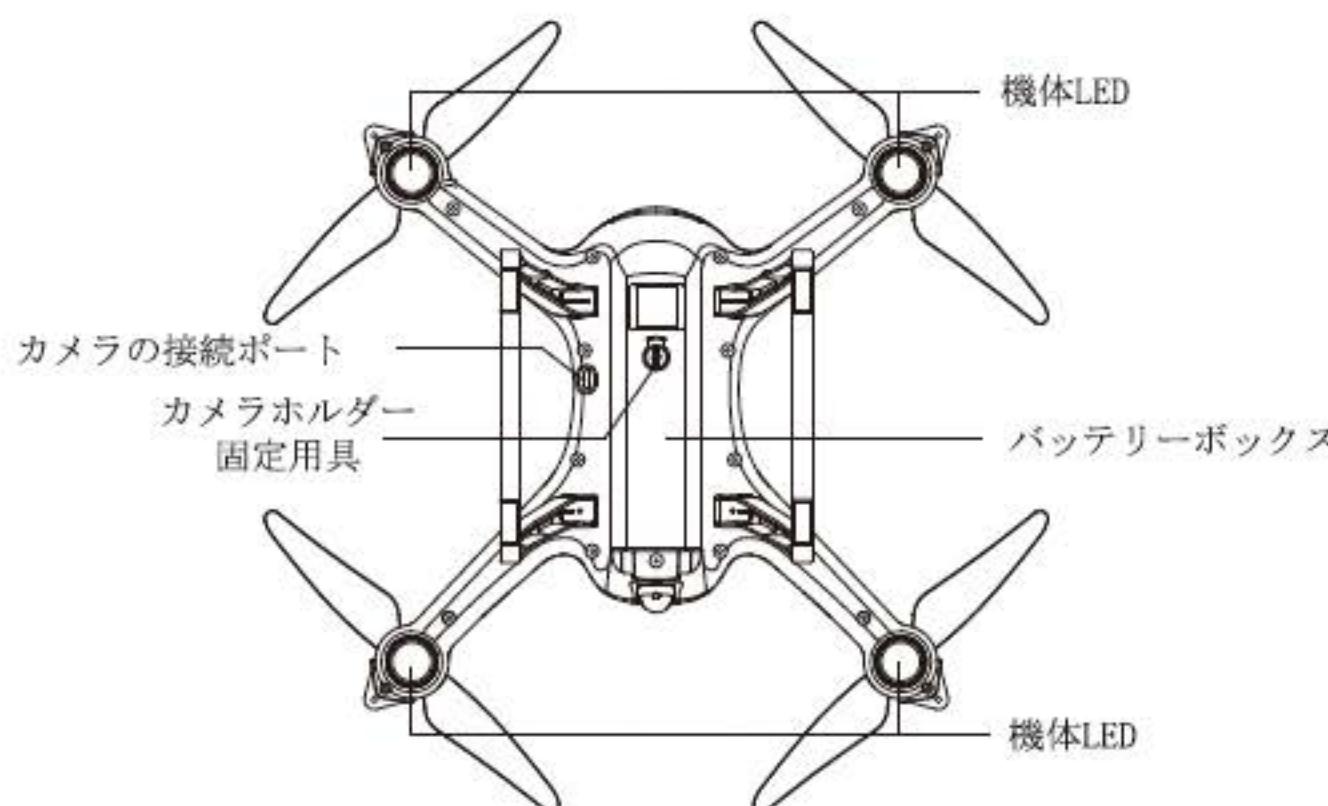
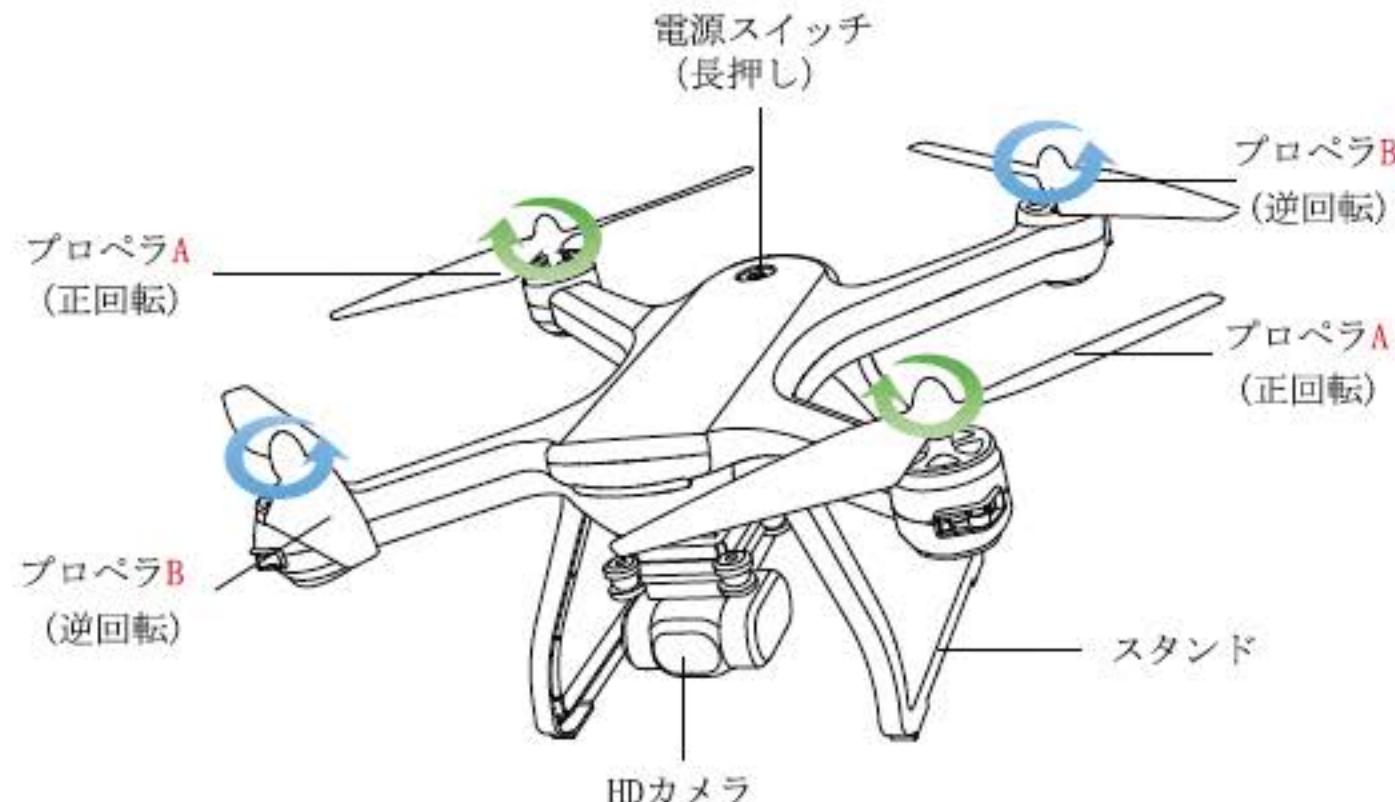
同梱品一覧

ご使用の前に以下の物が揃っているかご確認ください。

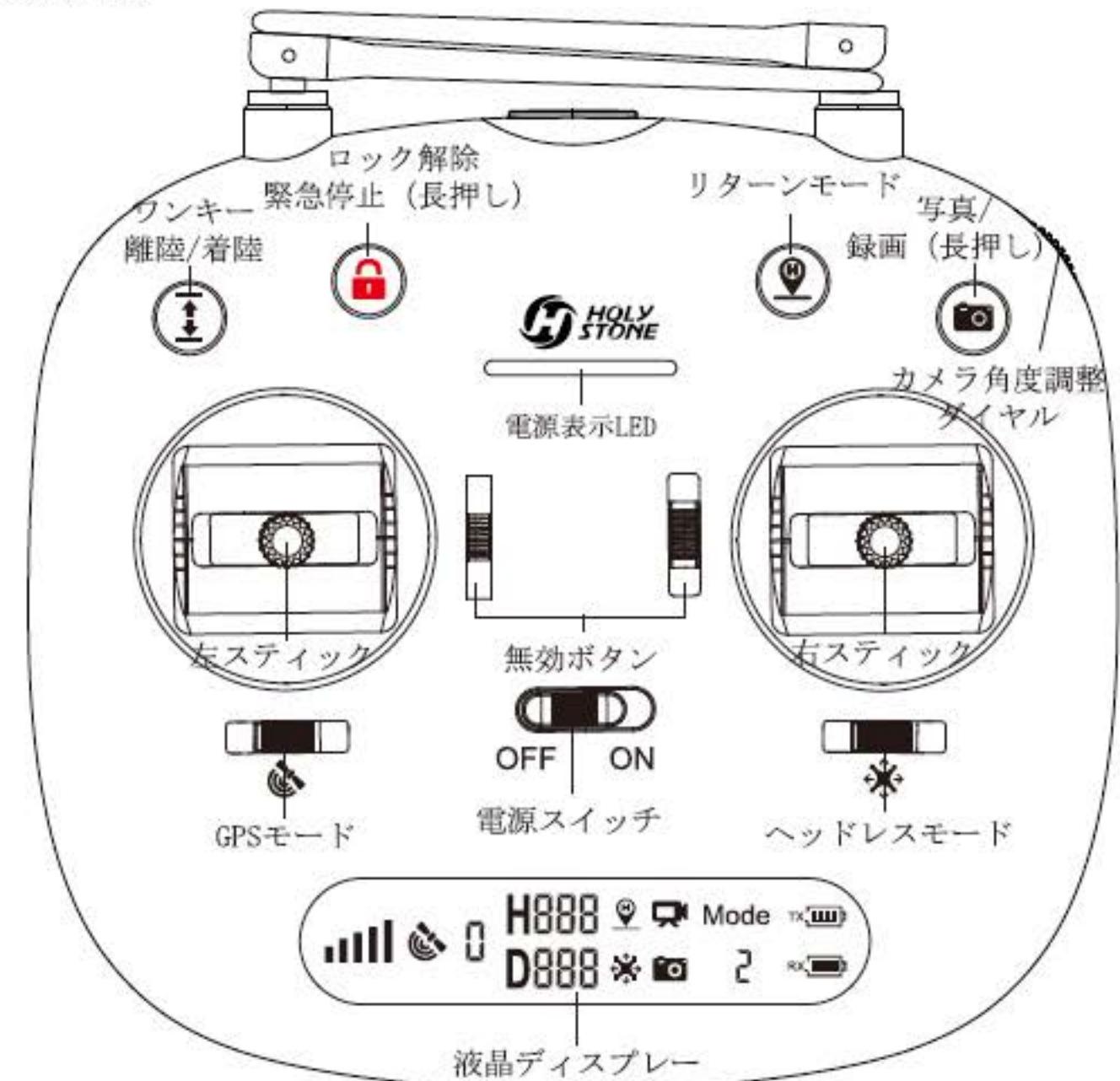
×1 本体	×1 送信機	×1 バッテリー	×1 スマホホルダー
×1 カメラ	×1 カメラ接続ケーブル	×1 バッテリー充電器	×1 USB充電ケーブル
A ×2	B ×2	×4	×4 プロペラガードカバー
×1 ドライバー	×1 プロペラ用具	×1 取り扱い説明書	

各部名称

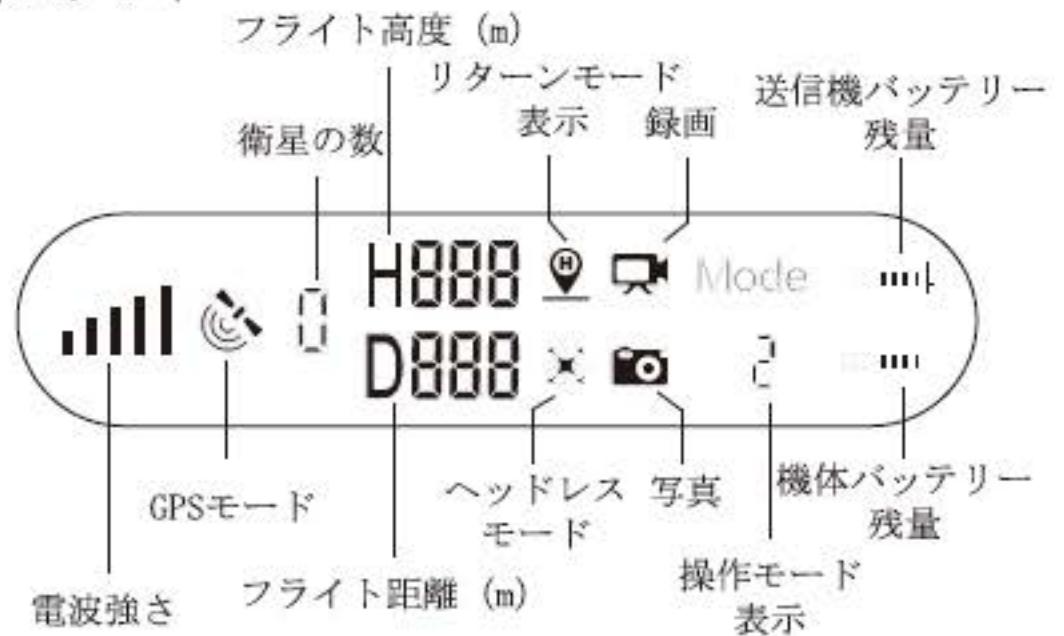
1. ドローン



2. 送信機



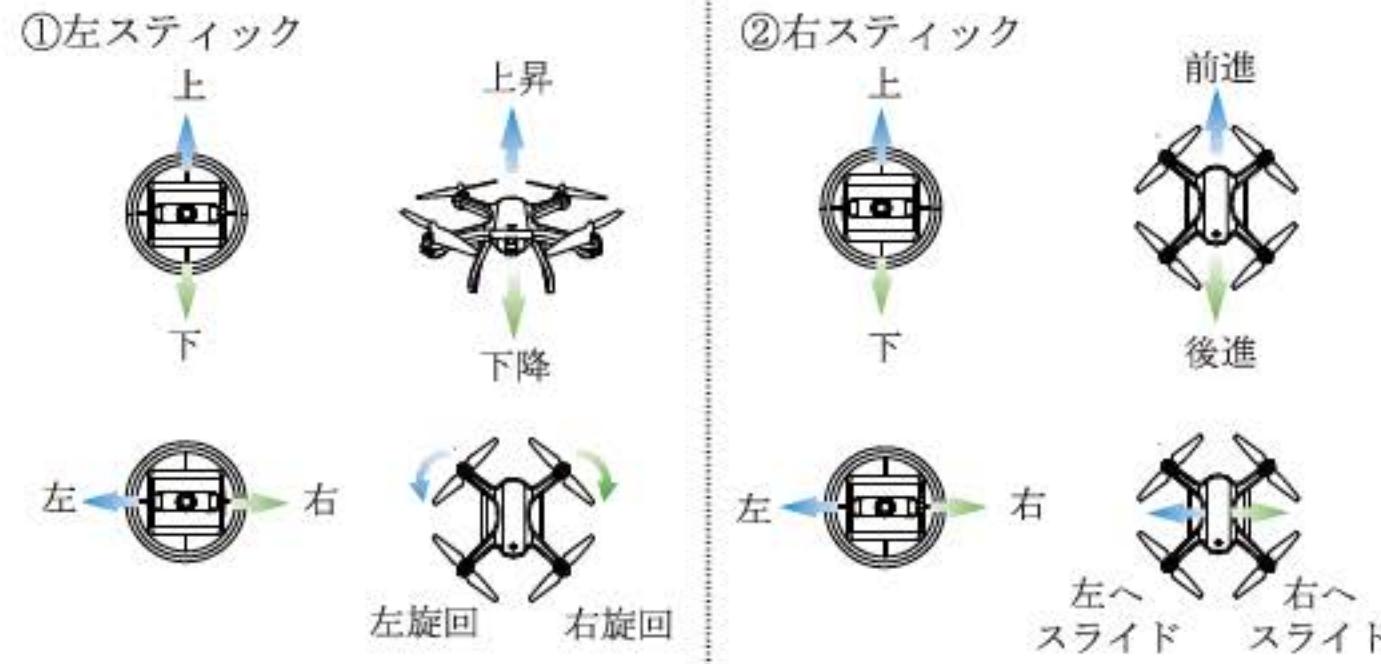
3. 液晶ディスプレイ



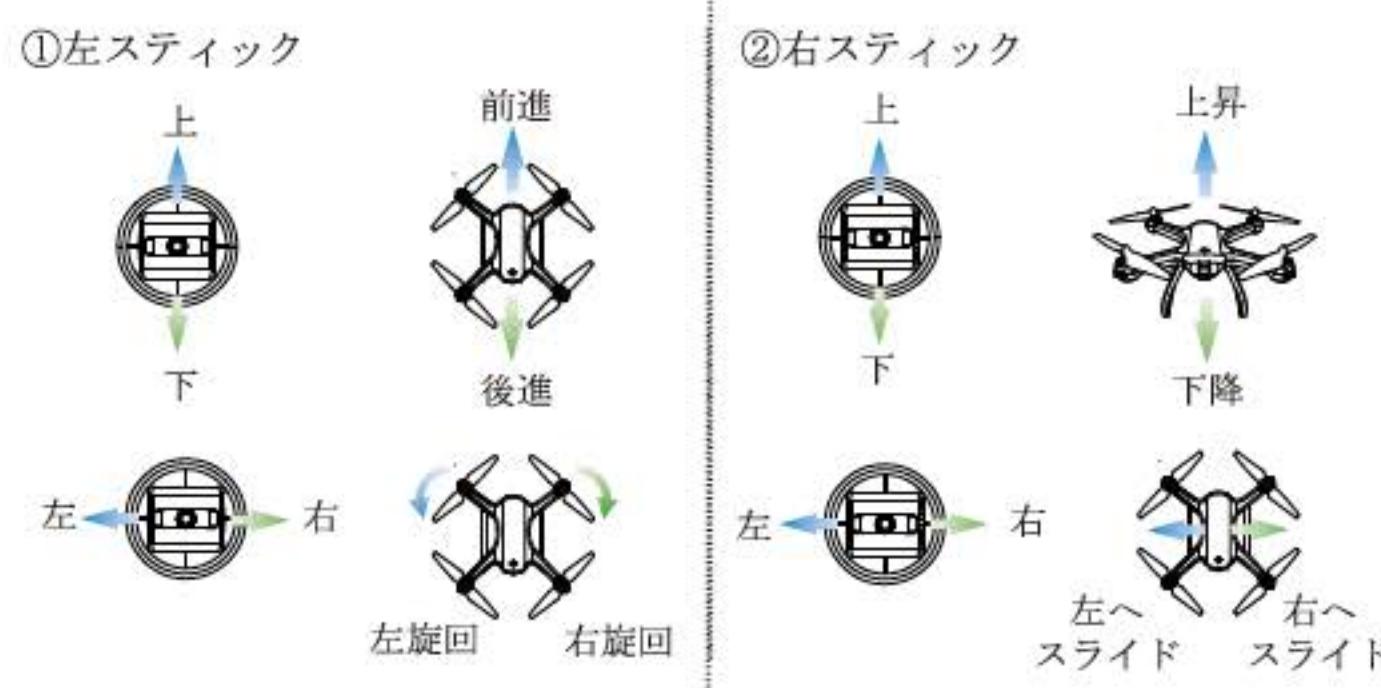
操作モード切替

デフォルトモードは前回の操作モードなので、送信機のロック解除ボタンを押したまま、電源を入れます。送信機のリターンモードボタンを長押し（3秒ほど）すると、モード1/2に切り替わることができます。

1. モード2

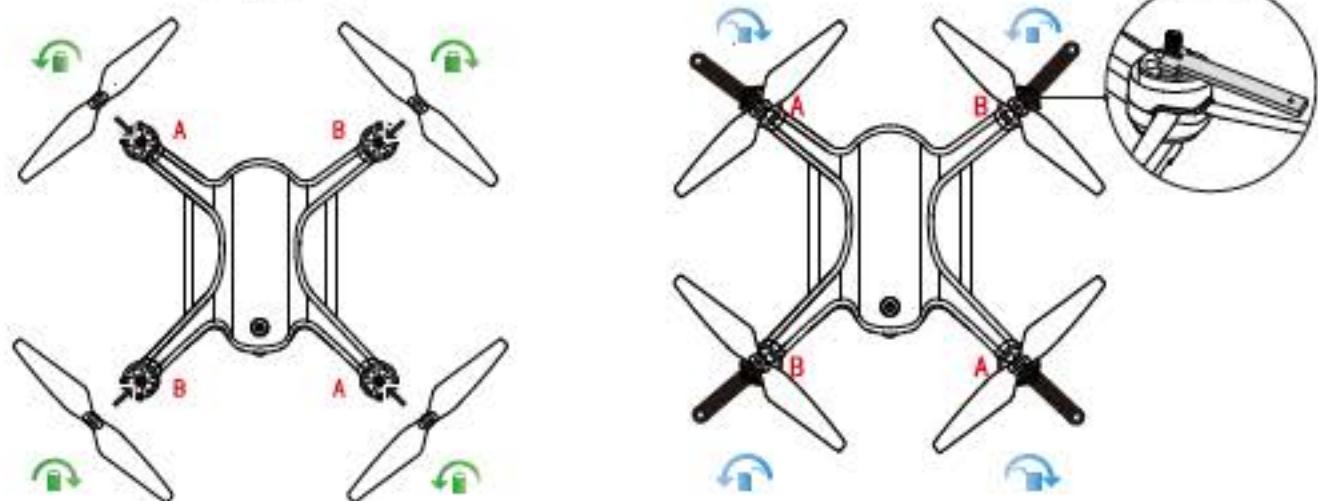


2. モード1

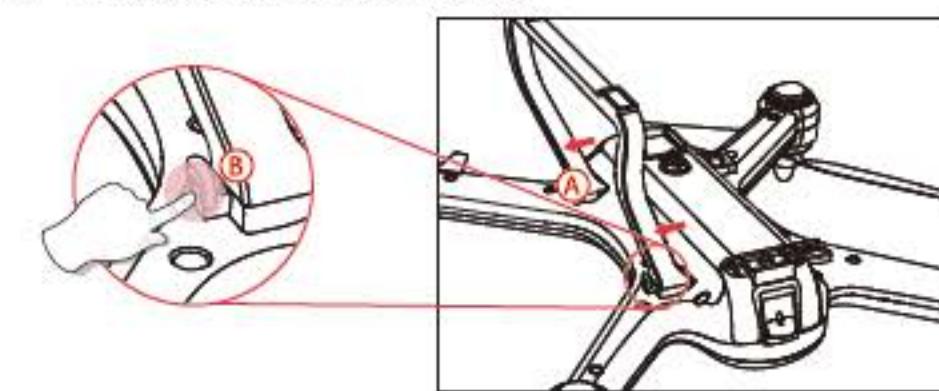
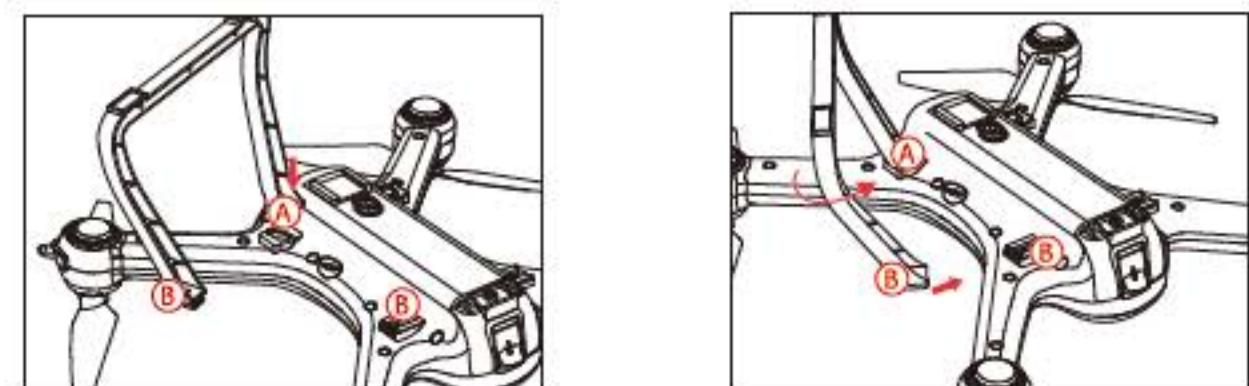


フライトの準備

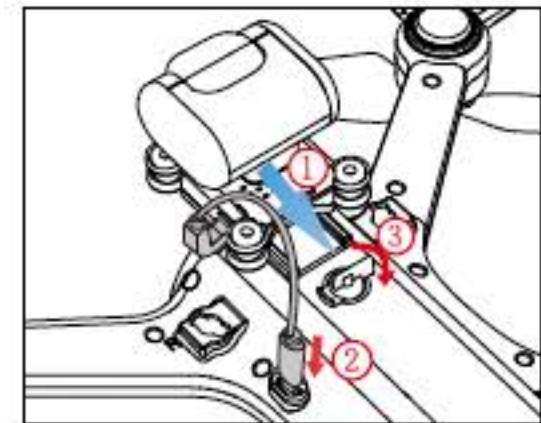
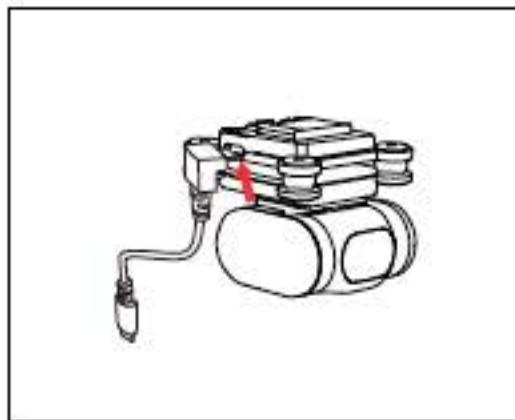
1. プロペラの交換方法



2. スタンドの取り付け方法



3. カメラをセットする



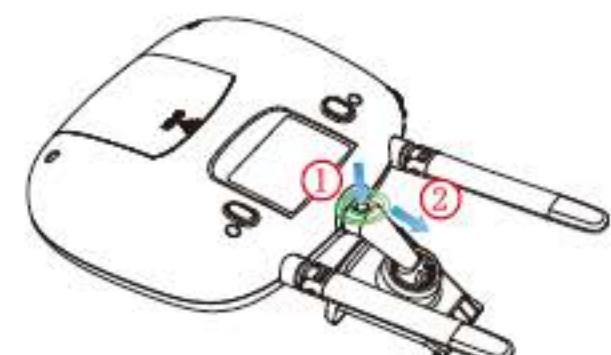
- (1) カメラ接続ケーブルをカメラ接続ポートに入れます。
- (2) ①の通り、カメラ付きカメラホルダーを機体底部の指定位置に装着します。
- (3) ②の通り、もう一方のカメラ接続ケーブルを機体の接続ポートに入れます。
- (4) ③の通り、カメラホルダーをロックします。

4. スマホホルダーの取り付け方法

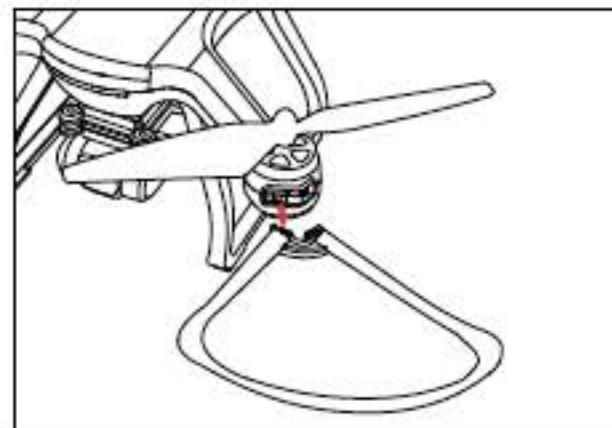
- ① 右図の通り、ホルダー部をスタンドバーに入れた後、送信機に取り付けます。



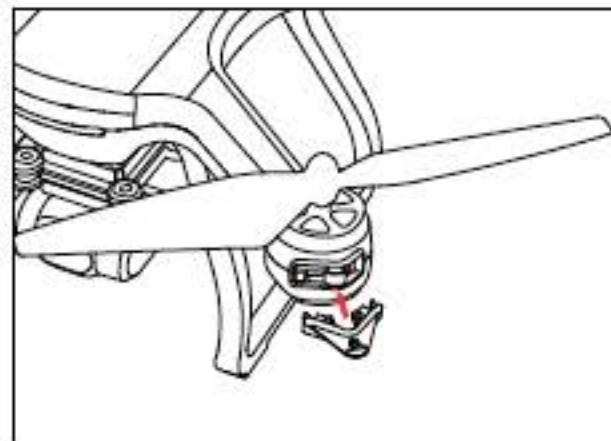
- ② 右図の通り、ロックボタンを押したまま、ホルダーを外へスライドすると、取り外すことができます。



5. プロペラガードとプロペラガードカバーの取り付け方法

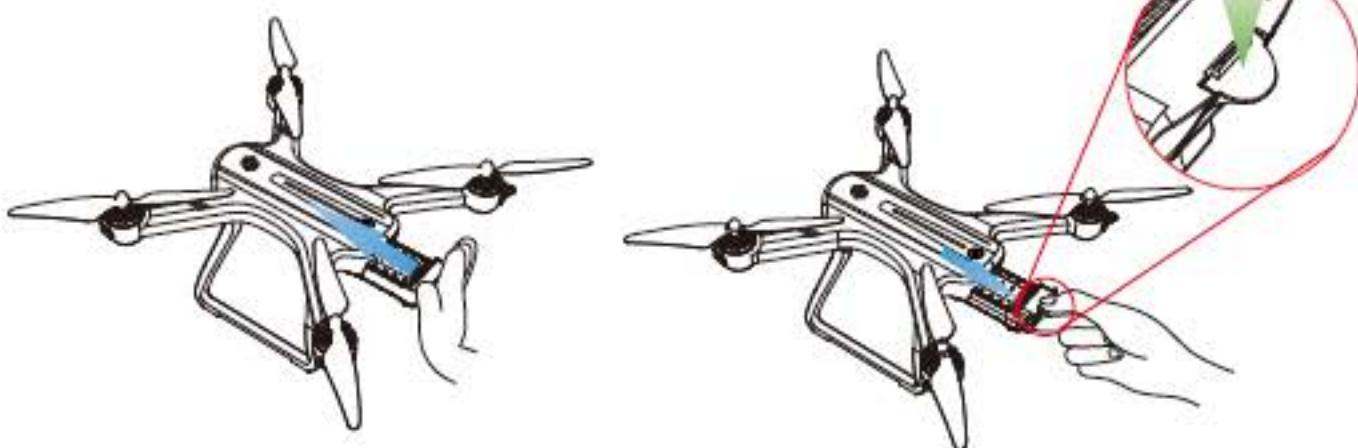


上図の通り、プロペラガードの一方を相応な位置に入れてから、もう一方を入れて、ロックします。



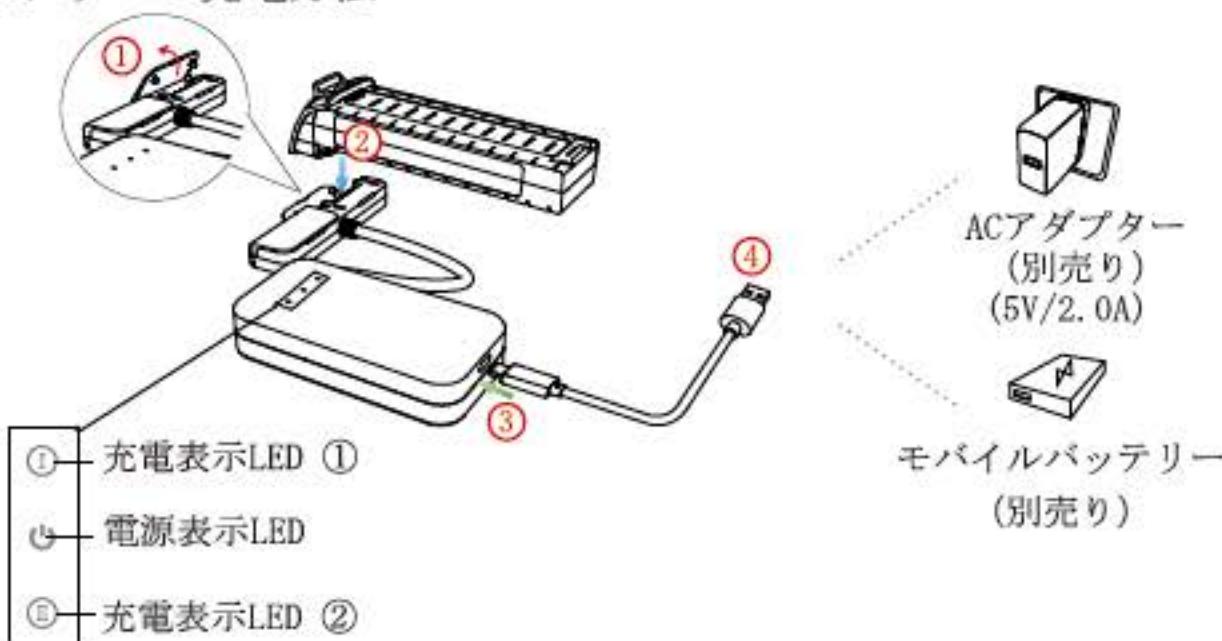
もしプロペラガードを取り付けない場合、上図の通り、プロペラガードカバーを相応な位置に入れてください。

6. 機体のバッテリーの交換方法



- ①バッテリーを図の通りに機体に装着します。 ②突き出し部分を下に押したまま、バッテリーを外へ取り外します。

7. パッテリーの充電方法



- ①図の通り、パッテリー充電器カバーを開けます。
- ②パッテリーをパッテリー充電器に装着します。
- ③USB充電ケーブルの一方の端子をパッテリー充電器に繋ぎます。
- ④USB充電ケーブルのもう一方の端子をACアダプター/モバイルバッテリーに接続します。
- ⑤充電中、充電表示緑LED ①が速く点滅し、電源表示赤LEDが点灯します。緑LEDと赤LEDは点灯すると、充電完了となります（パッテリー一個の充電時間は約5～7時間です）。

注意：2個パッテリーを同時に充電する場合、充電表示緑LED ①は速く点滅します。充電表示緑LED ②はゆっくり点滅します。パッテリー①が充電完了すると、パッテリー②を充電します。

フライトを始める

モード2を例として

1. ペアリング

①パッテリーを機体に装着後、電源スイッチを長押しすると、機体の電源が入ります。次に機体を平らなところに置いてください。

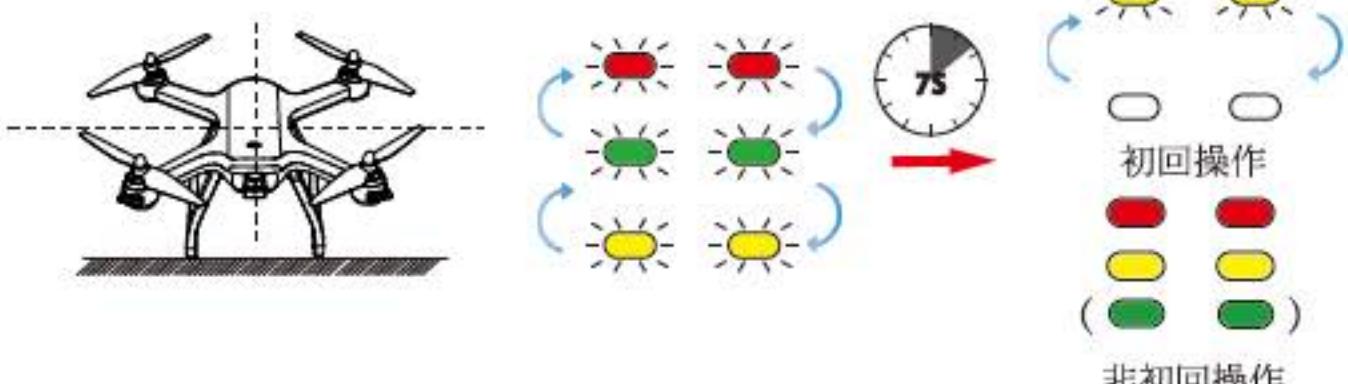


②単三乾電池を送信機に装着します。送信機のロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを右へ押します。送信器の表示LEDが早く点滅し、機体とのペアリング待ち状態になります。



③送信機は「ディ…」と一回長く鳴り、液晶ディスプレーに強い電波（■■■）が表示され、機体とのペアリングが成功になります。

2. 機体の初期検査



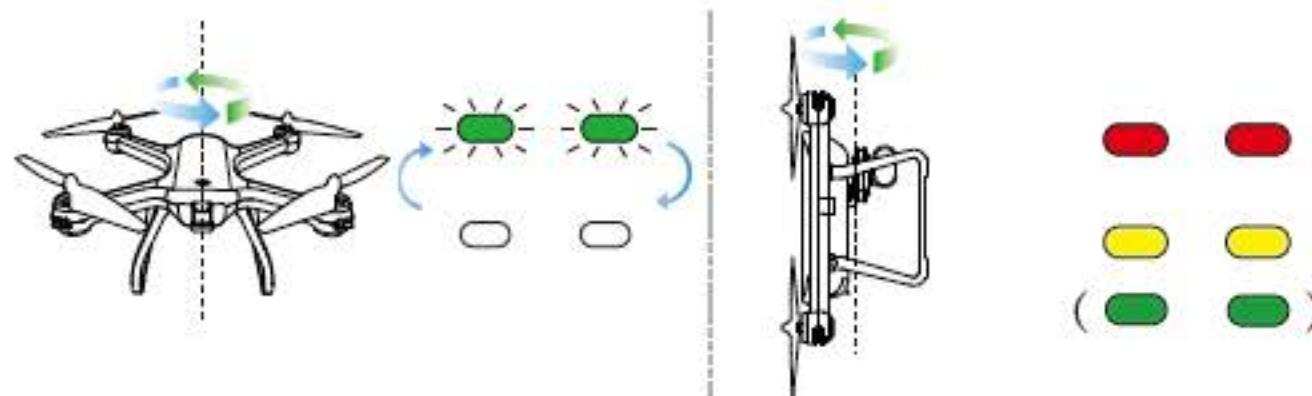
ペアリング成功後、機体は初期検査を行います。その際、飛行機の前後の赤、緑、黄LEDが交互に点滅し、約7秒ほどで初期検査が完了します。完了の状態について、2種類があります。

1. 初回操作の場合、完了すると、機体の前後黄LEDが交互に点滅し、コンパスリセットモードに移行します。
2. もし初回操作ではない場合、完了すると、機首の赤LEDと機尾の黄LEDが点灯します。（もし衛星7個以上の場合は、機首の赤LEDと機尾の緑LEDが点灯します。）

3. コンパスリセット

まず、平な場所に置いたドローンを下図の通りに360°回転させます。機体の前後緑LEDが交互に点滅したら、回転を中止します（三回転）。

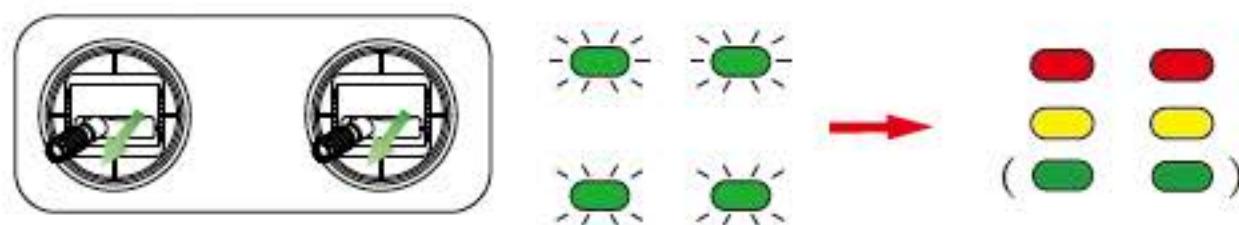
次に、機首を上に向くようにドローンを垂直に持ったまま、そして、ドローンを下図の通りに360°回転させます。機首の赤LEDと機尾の黄LEDが点灯したら、回転を中止します（三回転）。



注意：

1. 初回操作でのみ行う必要があります。もし手動でコンパスリセットしたい場合、左スティックと右スティックを同時に右下に押すと、機体の前後黄LEDが交互に点滅し、機体はコンパスリセットモードに移行します。
2. もし衛星7個以上の場合、コンパスリセット完了すると、機首の赤LEDと機尾の緑LEDが点灯します。
3. 機体を回転するとき、同じ平面で行ってください。

4. ジャイロリセット



初期検査が終わったあと、送信機の左スティックと右スティックを同時に左下に押し、機体の緑LEDが速く点滅するまで放さないで下さい。リセット完了すると、機首の赤LEDと機尾の黄LEDが点灯します。（もし衛星7個以上の場合、機首の赤LEDと機尾の緑LEDが点灯します。）

- 注意：1. ジャイロリセットを行う際は、必ず飛行機を平な場所に置いてください。
2. フライトする前、リセットを行うことをおすすめします。

5. ロック/ロック解除

離陸する前、ロック解除が必要あります。

①ロック解除方法

方法一：ロック解除ボタンを押すと、機体のプロペラが低速で回り始めます。

方法二：左スティックを右下に押し、同時に右スティックを左下に押して、機体のプロペラが低速で回り始めます。



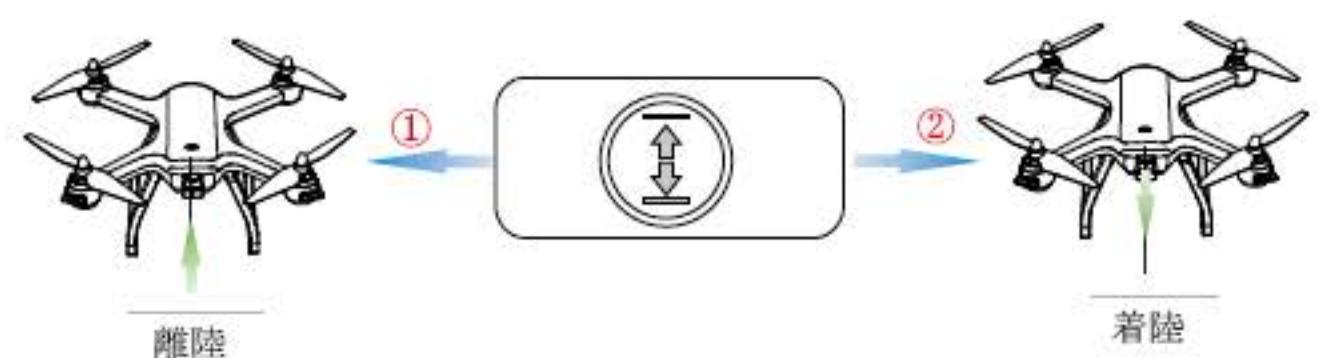
②ロック方法

機体が着陸したあと、左スティックを一番下に倒したまま、3秒ほど経つと、機体のプロペラが回転中止し、機体をロックします。



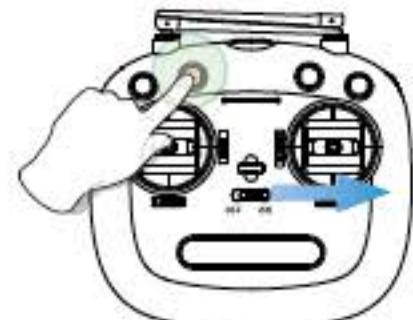
6. ワンキー離陸/着陸

- ①ワンキー離陸/着陸ボタンを押すと、機体は2~3.5mほどの高度に上昇します。
- ②フライト中、ワンキー離陸/着陸ボタンを押すと、機体は着陸します。

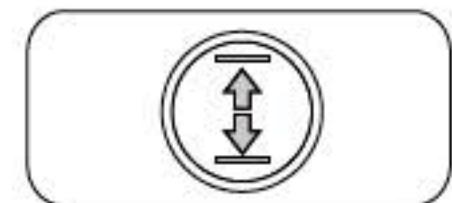


送信機機能の紹介

1. 送信機リセット



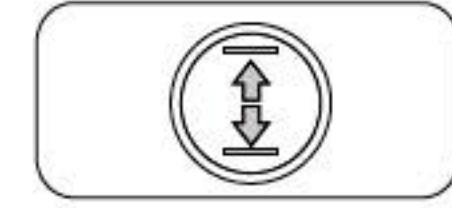
①図の通りに、送信機のロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを右へ押します。ペアリング待ち状態になります。



②図の通りに、ワンキー離陸/着陸ボタンを3秒ほど長押しすると、送信機は「ディ」と3回鳴り、送信機の表示LEDは早く点滅からゆっくり点滅になり、そのとき、送信機はリセットモードになります。



③図の通り、左右スティックは最大限度2回360°回転します。

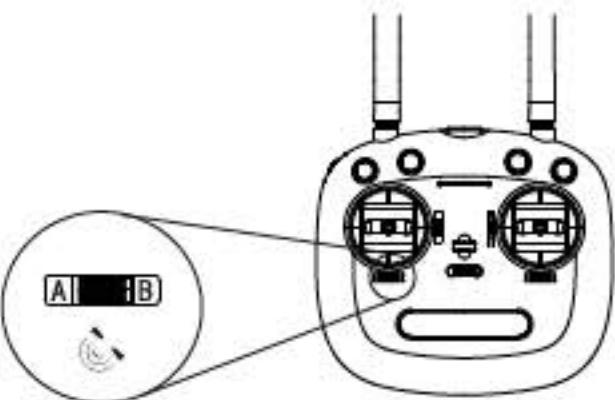


④図の通りに、ワンキー離陸/着陸ボタンを3秒ほど長押しすると、送信機は「ディ」と3回鳴り、送信機の表示LEDはゆっくり点滅から早く点滅になり、そのとき、送信機はリセットが完了し、リセットモードから抜けます。

注意：送信機リセットを行う時に、機体にバッテリーを装着しないでください。

2. GPSモード

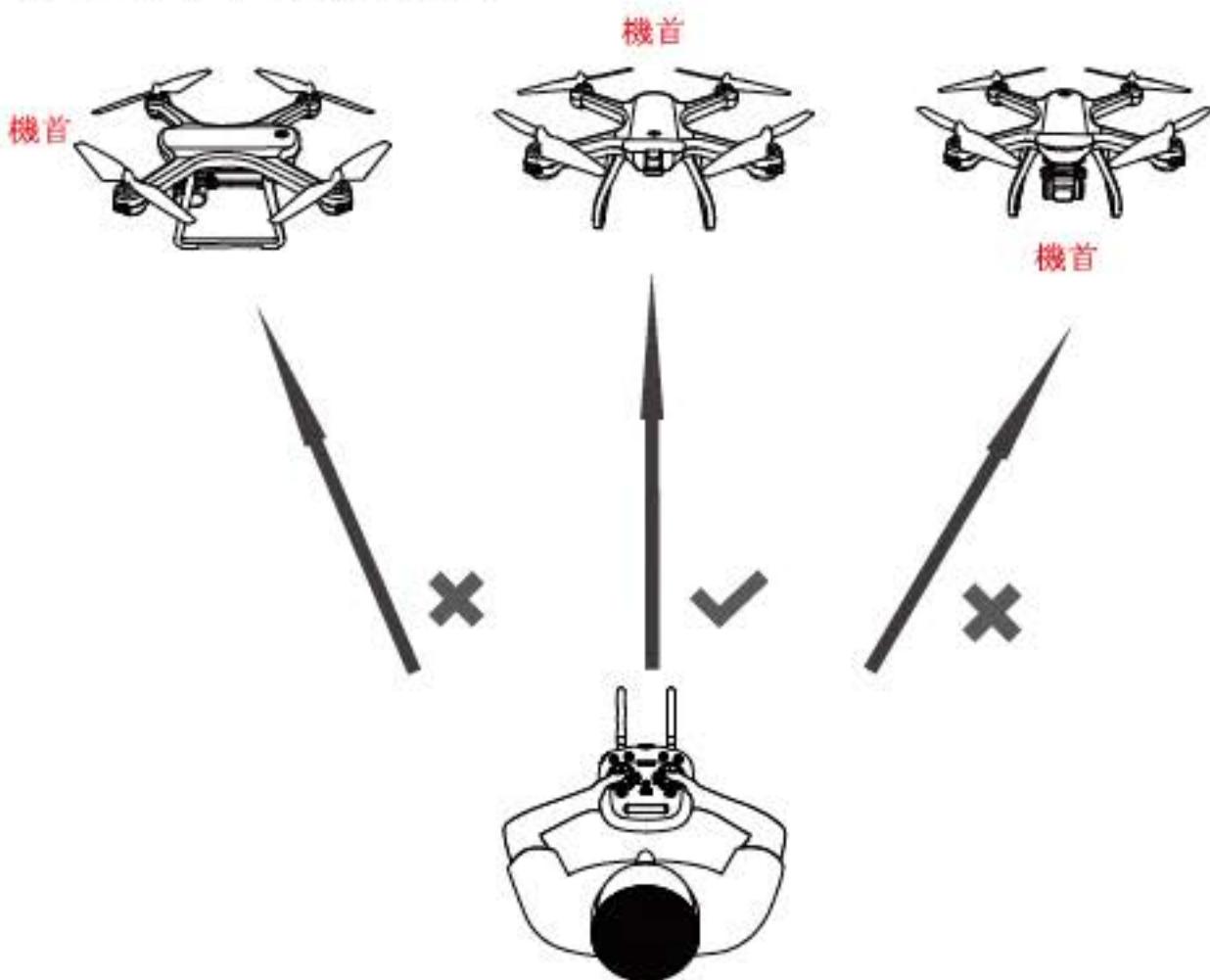
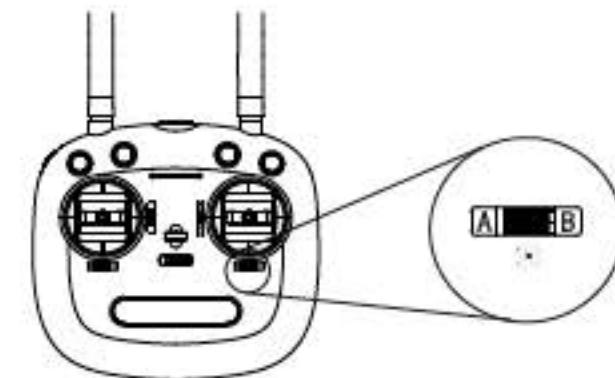
デフォルトモードはGPSモードです。GPSモードボタンをスライドすると、液晶ディスプレーには、というアイコンが消え、GPSモードをオフにします。



3. ヘッドレスモード

デフォルトモードは通常モードです。ヘッドレスモードボタンをスライドすると、液晶ディスプレーには、というアイコンが出て、ヘッドレスモードに移行します。

もう一度ヘッドレスモードボタンをスライドすると、液晶ディスプレーには、というアイコンが消えて、ヘッドレスモードから解除します。



機体の向きに関係なく前後左右が固定され、通常の方法とは異なり、機体はどこを向いていても方向スティック（前/後/左/右）を左右に動かすと機体が左右に動き、前後に動かすと、機体が前後に動くようになります。

注意：離陸するとき機首の向く方向が前方と指定されます。

4. リターンモード

リターンモードとは機体は離陸または飛行中、GPS信号が初めて衛星7個以上を受信したときの場所に戻るモードのことです。そして、リターンモードにはスマートリターンモードと低電圧リターンモード、フェイルセーフリターンモードがあります。



1) スマートリターンモード

強いGPS信号の受信中（衛星7個以上）、送信機のリターンモードボタンを押すと、送信機のディスプレーにリターンアイコンが表示し、機体はスマートリターンモードに移行し、記録されたリターン場所に戻ります。リターン場所とは離陸または飛行中、GPS信号が初めて衛星7個以上を受信したときの場所です。また、もう一度そのボタンあるいはスロットルスティックを押すと、リターンモードが停止します（方向スティックを押すと、機体はリターン続けます）。

2) フェイルセーフリターンモード

強いGPS信号の受信中（衛星7個以上）、コンパスが正常に作動出来、機体がリターン場所を記録成功出来た場合、もし機体と送信機のペアリングが6秒以上切れた場合、機体は自動でフェイルセーフリターンモードに移行し、記録されたリターン場所へ移動を開始します。また、帰還中、送信機とペアリングが回復しても、機体はリターンモードを続けます。リターンボタンあるいはスロットルスティックを押すと、リターンモードから抜いて、機体を操縦することができます。

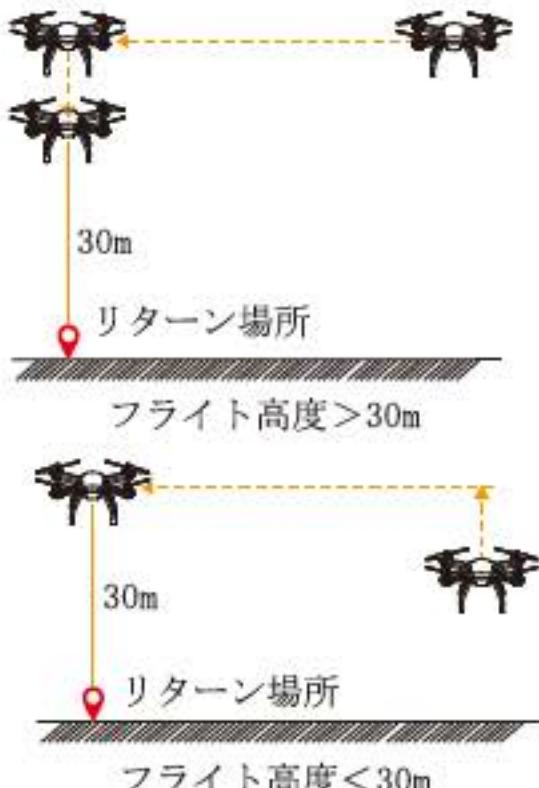
注意：

1. 自動リターンの過程中、機体は障害物を避ける機能がつきません。
2. GPS信号が弱いあるいはGPS機能が正常に作動できない場合、リターンできません。
3. 機体がGPS信号を受信出来ない状態で、送信機とのペアリングが6秒以上切れた場合、機体はリターン出来ないので、ゆっくり着陸し、ロックされます。

3) 低電圧リターンモード

機尾のLEDがゆっくり点滅し、送信機のディスプレーの「機体バッテリー残量」が「」と表示された場合、機体は第一段階のリターンモードに移行します。

a. 機体のフライト高度は30m以上の場合、機体は記録されたリターン場所の上空へフライトし、リターン場所まで30mの高さのところへ下降し、ホバリングします。そして、リターンモードから解除します。



b. 機体のフライト高度は30m以内の場合、機体は30mの高さへ上昇し、記録されたリターン場所の上空30mの高さのところへフライトし、ホバリングします。そして、リターンモードから解除します。



機尾のLEDが速く点滅し、送信機のディスプレーの「機体バッテリー残量」が「」と表示され、しかも「ディ、ディ、ディ、…」と鳴る場合、機体は第二段階のリターンモードに移行します。

a. 機体の飛行距離は15m以上の場合、機体は記録されたリターン場所の上空15mの高さのところへフライトし、下降します。

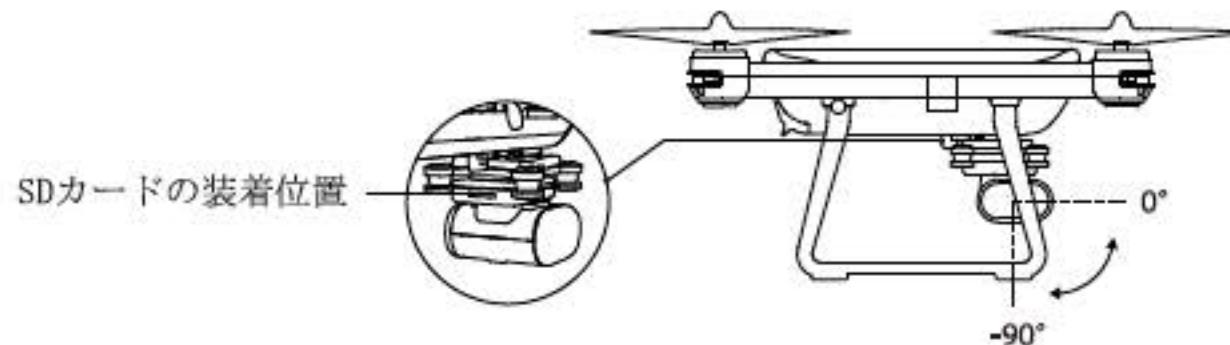


b. 機体のフライト高度は15m以内の場合、機体は15mの高さへ上昇し、記録されたリターン場所の上空15mの高さのところへフライトし、下降します。

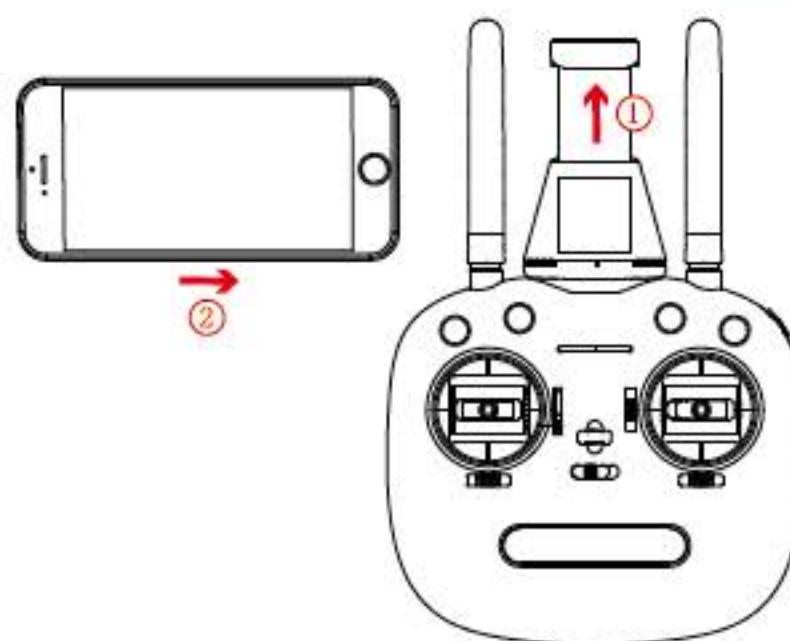


注意：低電圧リターンモードの場合、リターンをキャンセルすることができません。

5. カメラ角度調整方法



フライト中、送信機の右上のカメラ角度調整ダイヤルを使ってカメラ角度を調整します。ダイヤルを左へスライドすると、カメラ角度を下に移動します。ダイヤルを右へスライドすると、カメラ角度を上に移動します（調整角度：-90° ~0°）。



Wi-Fiカメラの使い方

1. 専用アプリをインストールする

お手持ちのスマホに専用のアプリ「Ophelia Go」をインストールします。

下記のQRコードから、またはAppStore/GooglePlayから「Ophelia Go」を検索し、ダウンロードとインストールを行ってください。



iOS



Google Play

AppStore/GooglePlayから「Ophelia Go」をダウンロードする場合は、無料です。どうぞご安心ください。

2. Wi-Fiリモート設定（ペアリング）

機体と送信機をペアリング完了後、スマートフォンのWi-Fi設定画面を表示し、「HolyStoneFPV_*****」を選んで接続します。また、「Ophelia Go」アプリを立ち上げ、モニターにカメラの映像が表示されていれば接続完了です。

注意：

1. アンドロイドの場合、アンチウイルスソフトウェアを利用している場合、しばらく閉めてください。
2. アンドロイドの場合、モニターにカメラの映像が表示されない場合、スマホの「設定」アイコンをタップし、モバイルデータ通信をオフにします（あるいは、機内モードにします）。その後、スマホで機体Wi-Fiと接続してください。
3. 「Ophelia Go」アプリが正常に作動できない場合、スマホの設定に移行し、そのアプリをタップし、次に、「ワイヤレスデータ」をタップして、「WLANとモバイルデータ通信」を選んでください。

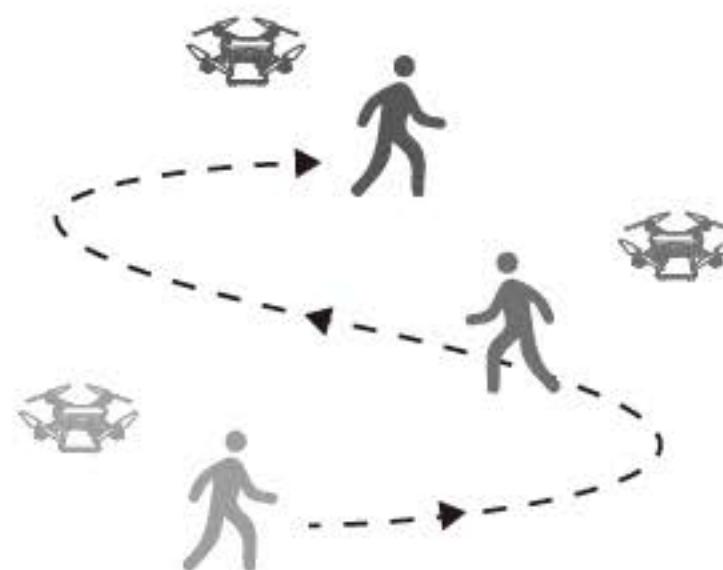
アプリ機能紹介

1. 操作画面説明



ホームページ	設定	写真
GPS補足数	リターンモード	録画
機体バッテリー残量	ワンキー離陸/着陸	カメラ設定
送信機バッテリー残量	ロック解除	ウェイポイントモード
操縦信号強度	撮影データ	削除
映像転送信号強度		アップロード
コンソール オン/オフ	フォローミー モード	距離(m)
3D 画面	ホバリング モード	高度(m)
画面反転	ヘッドレス モード	スピード (m/s)

2. フォローミーモード



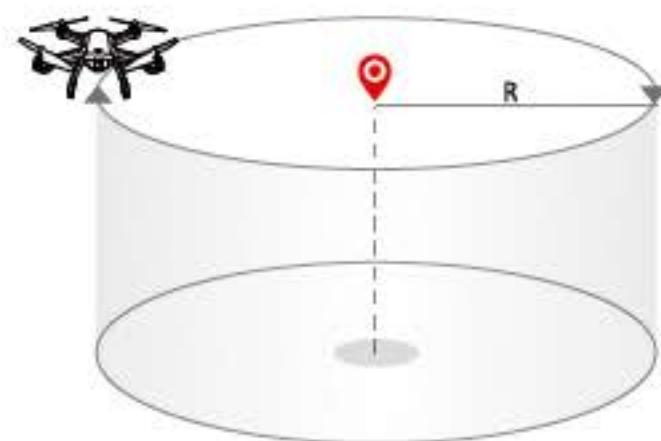
フォローミーモードを有効にした時の高度と、操縦者までの距離を保ちながら追跡を行います。

- ①機体と操縦者の距離を5-30m離してください。
- ②アプリの「」アイコンをタップし、次に「」アイコンをタップすると、提示語に従って、フォローミーモードに移行します。また、もう一度「」アイコンをタップすると、フォローミーモードが解除されます。



- ①機体と操縦者の距離が5-30m以外の場合、フォローミーモードは無効となります。
- ②強いGPS信号の受信中（衛星7個以上）のみ、フォローミーモードは有効となります。
- ③飛行エリアは広い屋外で、高い建物やその他の障害物の無いところが理想です。

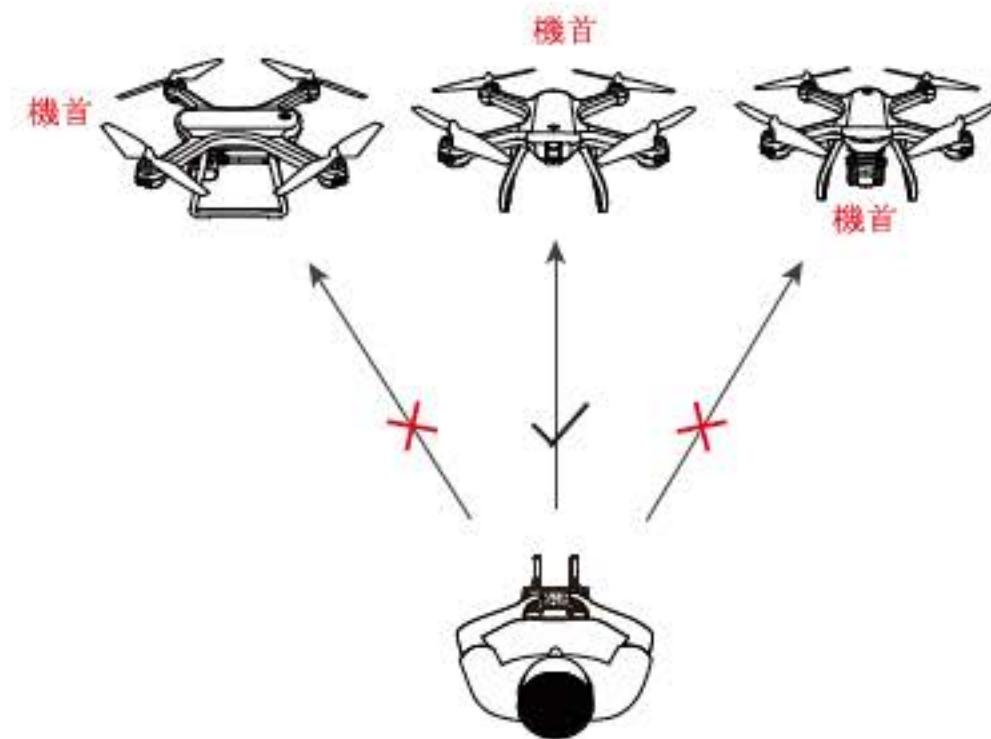
3. ホバリングモード



- ①アプリの「」アイコンをタップし、次に「」アイコンをタップすると、提示語に従って、ホバリングモードに移行します。
- ②機体はカメラが向いているポイントまでの距離を半径とし、そのポイントを中心に向かたままの旋回飛行を行います。デフォルトポイントはカメラの位置から距離5mの場所です（設定可能半径：5~50m）。
- ③また、もう一度「」アイコンをタップすると、ホバリングモードが解除されます。

4. ヘッドレスモード

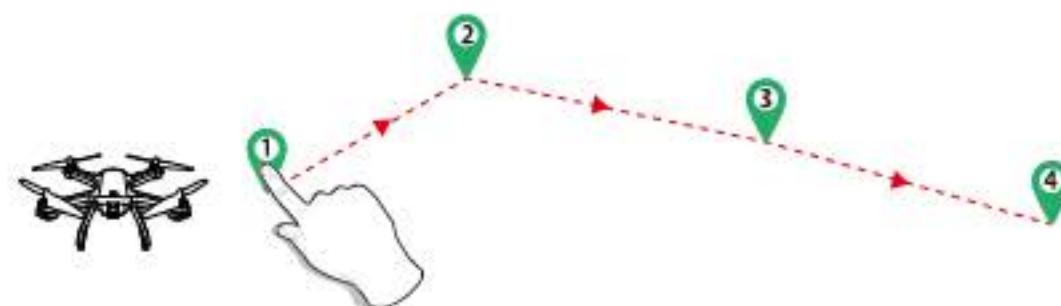
- ①アプリの「」アイコンをタップし、次に「」アイコンをタップすると、提示語に従って、ヘッドレスモードに移行します。
- ②もう一度「」アイコンをタップすると、ヘッドレスモードが解除されます。



機体の向きに関係なく前後左右が固定され、通常の方法とは異なり、機体はどこを向いていてもエルロンスティックを左右に動かすと機体が左右に動き、エレベータースティックを前後に動かすと、機体が前後に動くようになります。

注意：機体が離陸するとき機首の向く方向が前方と指定されます。

5. ウェイポイントモード



まず、マップをタップし、次に「」アイコンをタップすると、提示語に従って、ウェイポイントモードに移行します。

モード1：「」アイコンをタップして、操縦者は地図上の飛行させたいエリアを指で描きます。次に、「」アイコンをタップ後、機体は地図上で指定した航路を、入力された条件を基に自動飛行します。

モード2：「」アイコンをタップすると、操縦者は地図上の飛行させたいエリアを指でなぞります。次に、「」アイコンをタップ後、機体は地図上で指定したポイントを、入力された条件を基に自動飛行します。

また、もう一度「」アイコンをタップすると、ウェイポイントモードが解除されます。

もし、データ送信に失敗した場合、もう一度送信あるいはキャンセルを選択することができます。

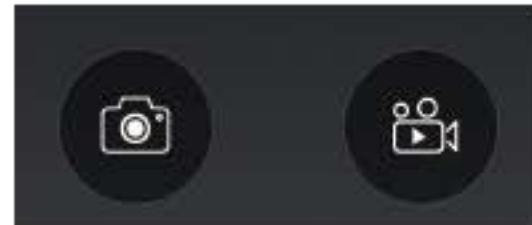


①人、動物、木、電線などを避けてください。

②操縦者が設定した航路は実際のフライト航路と誤差がある恐れがあります。

6. 写真・録画

- ①「」アイコンをタップすると、写真を撮ります。
- ②「」アイコンを一回タップする、録画が始まります。また、もう一度そのアイコンをタップすると、録画が完了です。
- ③「」アイコンをタップすると、撮影データを見ることができます。



④SDカードを装着していない場合、撮影した写真と動画はアプリに保存されます。加えてスマホのアルバムにも保存しています。

⑤SDカードを装着している場合、撮影した写真と動画はSDカードにのみ保存可能です。



アプリ側でSDカードの撮影データを確認したい場合、スマホで機体のWiFiを繋ぐ必要があります。

機体LEDの状態変化説明

機体LED状態	説明
	前後黄LEDが速く点滅している 機体と送信機がペアリング成功できなかった
	前後黄/赤/緑LEDが相互に点滅している 機体が初期検査を行っている
	前赤LEDは点灯し、後黄LEDは点灯している GPS信号が検索できないあるいはGPS信号が弱い
	前赤LEDは点灯し、後緑LEDは点灯している GPS信号が強い
	前後緑LEDが速く点滅している ジャイロリセット中
	前後緑LEDが相互に点滅している コンパスリセット完了
	前後黄LEDが相互に点滅している 初期検査完了/ジャイロリセット完了
	前赤LEDは点灯し、後赤LEDはゆっくり点滅している 機体は第一段階の低電リターンモードに移行する
	前赤LEDは点灯し、後赤LEDは速く点滅している 機体は第二段階の低電リターンモードに移行する

製品基本情報について

● 機体

型番 : HS700D

重量 : 630g(バッテリー、プロペラガードを装着済み)

飛行時間 : 約22分

モーター品番 : 2204 1400KV

操作環境の気温 : 0°C~40°C

サイズ : 434 x 434 x 151 mm

● 機体のバッテリー

容量 : 2800mAh

電圧 : 7.4V

種類 : LiPoバッテリー

電量 : 20.72Wh

充電時間 : 約5-7時間

充電温度 : 5°C~40°C

● 送信機

使用周波数帯 : 2.4GHz帯

最大な可能操作距離 : 999m (障害物なし、信号障害なし)

電池 : 単三乾電池*4

操作環境の気温 : 0°C~40°C

● カメラ

使用周波数帯 : 2.4Ghz帯

画素数 : 4K 3840×2160p (SDカード側)、HD1920×1080p (スマホ側)

Wi-Fiのリアルタイム距離 : 100m (信号障害なし)

カメラ角度調整 : -90° ~0°

写真形式 : JPEG

映像形式 : AVI

操作温度 : 0°C~40°C

SDカード : 容量最大32G

● USB充電ケーブル

電圧 : 5V

輸出電圧 : ≤10W